



2026年7月4日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
9,244万kW
18時30分、92,440 MW
(10エリア同時刻合計)

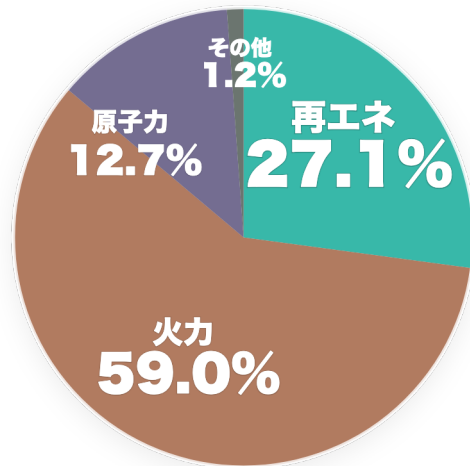
☀ 太陽光ピーク
2,541万kW
12時30分、25,410 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク
98万kW
13時30分、985 MW

◇ 再エネ最大需要比
43.2%
12時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
102 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
66.5 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 52.4%

40.1 GWh

出力抑制量

4.2 GWh

最大: 東北 4.2 GWh

揚水・蓄電の充電

36.2 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、19:00に3,048万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで52.4%でした。
- 出力抑制は東北。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	27.1%	発電電力量ベース
再エネ発電量	552 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	2,033 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	43.2%	12時30分
出力抑制量	4.2 GWh	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	36.2 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	52.4%	40.1	0.0	送電 6.5
東北	35.6%	89.1	4.2	送電 66.5
東京	17.2%	95.7	0.0	受電 102
中部	35.9%	92.9	0.0	受電 40.7
北陸	45.1%	32.5	0.0	送電 10.6
関西	20.6%	62.5	0.0	受電 33.6
中国	21.8%	33.9	0.0	送電 24.2
四国	26.8%	25.7	0.0	送電 36.3
九州	32.3%	75.8	0.0	送電 10.5
沖縄	12.1%	3.6	0.0	—

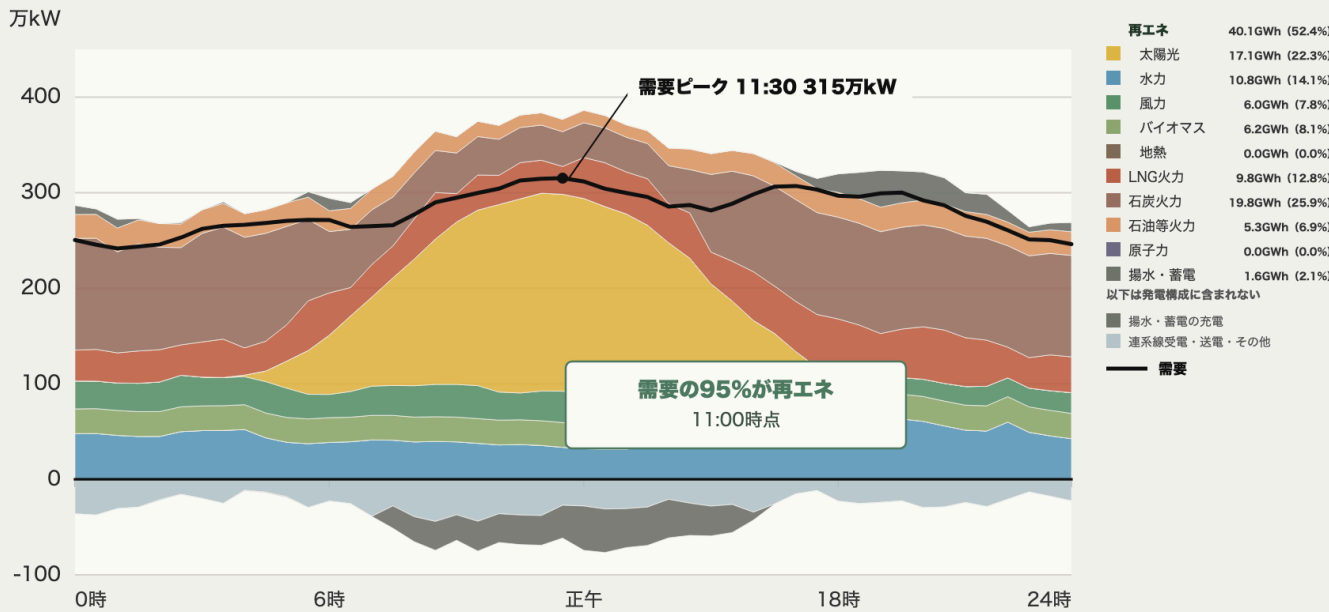


2026年7月4日の供給実績

北海道エリア

再エネ
40.1GWh
(発電電力量ベース52.4%)

北海道エリア 2026年7月4日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

76.6GWh

需要ピーク

11:30、315万kW

連系線・その他

6.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

2.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク207万kW、風力ピーク34万kWで、時間別の再エネ最大需要比は95.2%だった。



2026年7月4日の供給実績

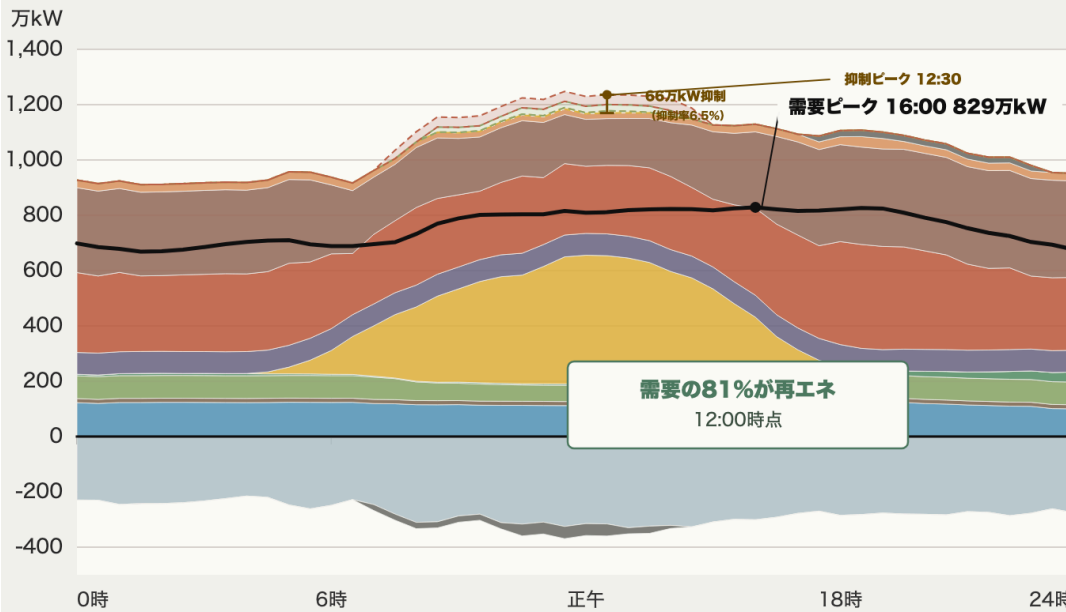
東北エリア

再エネ

89.1GWh

(発電電力量ベース35.6%)

東北エリア 2026年7月4日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 250GWh
(2,502万kWh)

再エネ	89.1GWh (35.6%)
太陽光	36.8GWh (14.7%)
水力	28.1GWh (11.2%)
風力	2.6GWh (1.0%)
バイオマス	18.1GWh (7.2%)
地熱	3.5GWh (1.4%)
LNG火力	68.6GWh (27.4%)
石炭火力	66.2GWh (26.5%)
石油等火力	6.1GWh (2.4%)
原子力	19.0GWh (7.6%)
揚水・蓄電	1.2GWh (0.5%)
揚水・蓄電の充電	以下は発電構成に含まれない
連系線受電・送電・その他	以下は発電構成に含まれない
需要	黒線

出力抑制量 4.2GWh

太陽光	0.2GWh
バイオマス	1.3GWh
火力	2.7GWh

抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)
出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

250.2GWh

需要ピーク

16:00、829万kW

連系線・その他

66.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

2.2GWh

出力抑制

4.2GWh

概況

東北は、太陽光ピーク465万kW、風力ピーク36万kWで、時間別の再エネ最大需要比は81.0%だった。



2026年7月4日の供給実績

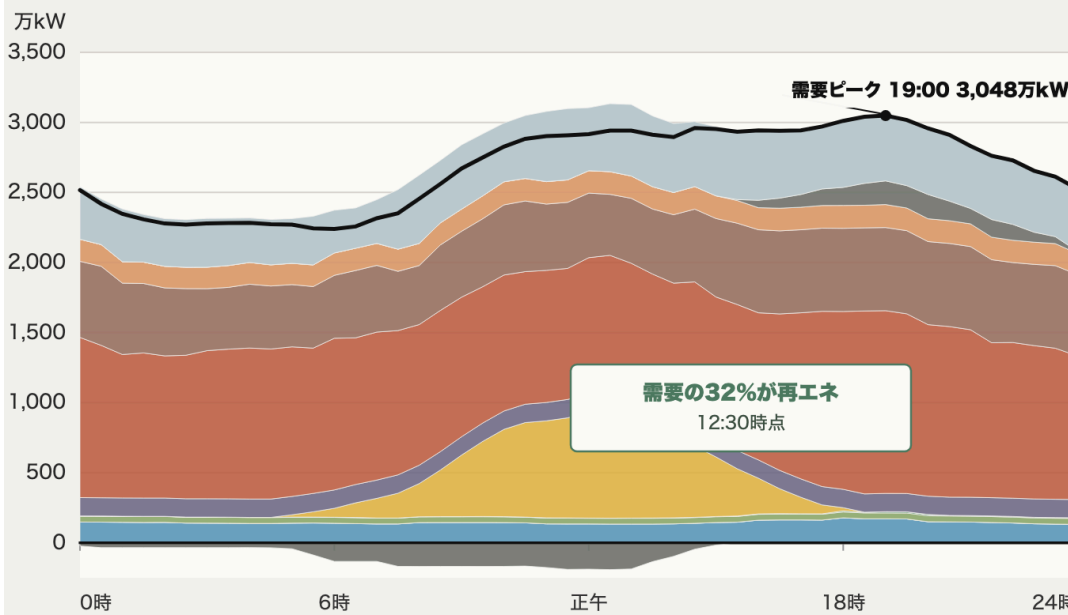
東京エリア

再エネ

95.7GWh

(発電電力量ベース17.2%)

東京エリア 2026年7月4日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 556GWh
(5,556万kWh)

再エネ	95.7GWh (17.2%)
太陽光	50.2GWh (9.0%)
水力	34.9GWh (6.3%)
風力	0.6GWh (0.1%)
バイオマス	10.0GWh (1.8%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	257.9GWh (46.4%)
石炭火力	123.9GWh (22.3%)
石油等火力	38.0GWh (6.8%)
原子力	31.4GWh (5.6%)
揚水・蓄電	8.8GWh (1.6%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

555.6GWh

需要ピーク

19:00、3,048万kW

連系線・その他

102.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

16.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク764万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は32.0%だった。



2026年7月4日の供給実績

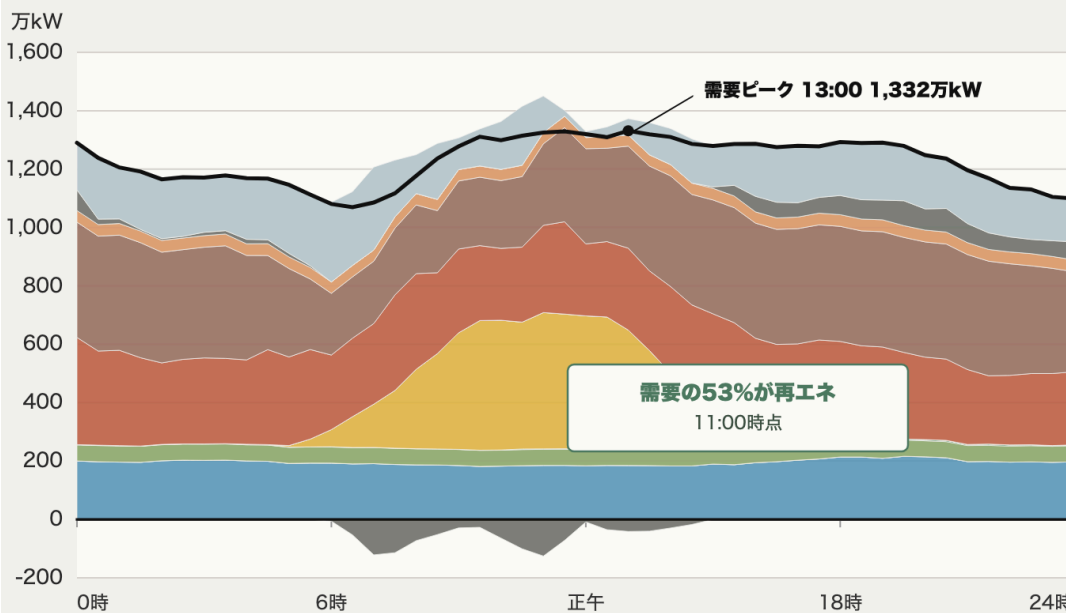
中部エリア

再エネ

92.9GWh

(発電電力量ベース35.9%)

中部エリア 2026年7月4日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 259GWh
(2,587万kWh)

再エネ	92.9GWh (35.9%)
太陽光	32.2GWh (12.4%)
水力	46.8GWh (18.1%)
風力	0.6GWh (0.2%)
バイオマス	13.2GWh (5.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	68.9GWh (26.6%)
石炭火力	81.3GWh (31.4%)
石油等火力	9.5GWh (3.7%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	6.1GWh (2.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

258.6GWh

需要ピーク

13:00、1,332万kW

連系線・その他

40.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電

5.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク467万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.5%だった。



2026年7月4日の供給実績

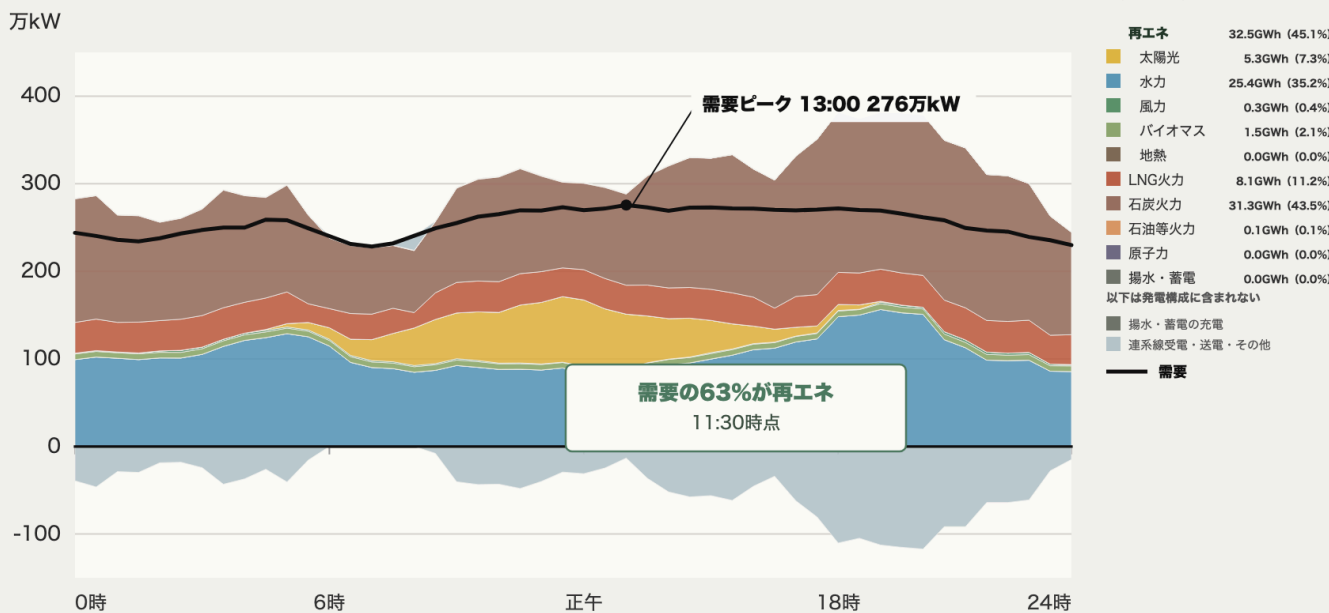
北陸エリア

再エネ

32.5GWh

(発電電力量ベース45.1%)

北陸エリア 2026年7月4日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

72.0GWh

需要ピーク

13:00、276万kW

連系線・その他

10.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク76万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.7%だった。

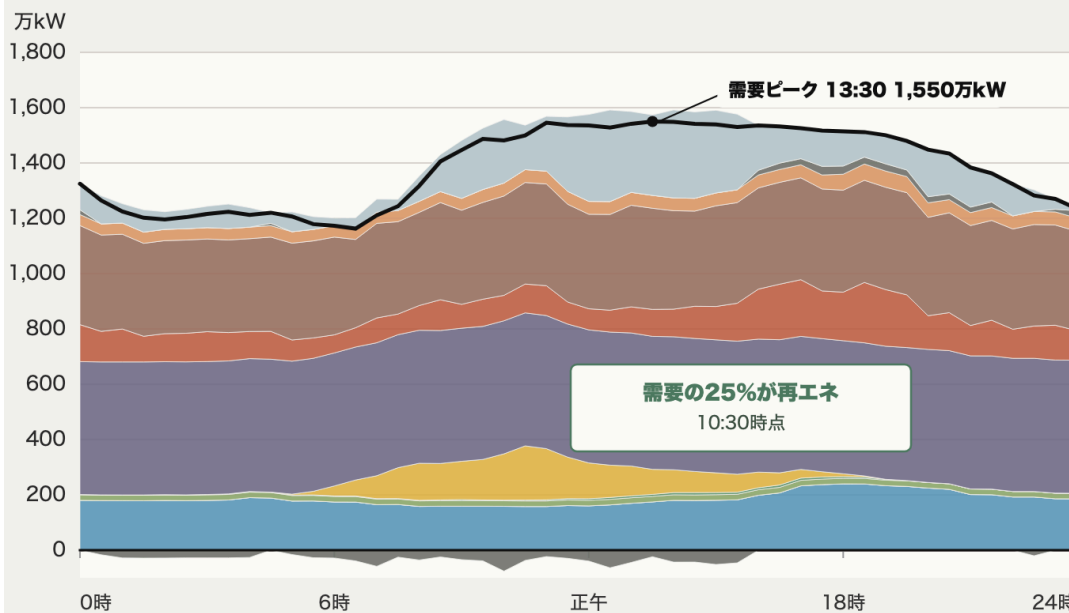


2026年7月4日の供給実績

関西エリア

再エネ
62.5GWh
(発電電力量ベース20.6%)

関西エリア 2026年7月4日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 304GWh
(3,035万kWh)

再エネ	62.5GWh (20.6%)
太陽光	12.3GWh (4.1%)
水力	44.7GWh (14.7%)
風力	0.8GWh (0.3%)
バイオマス	4.8GWh (1.6%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	28.1GWh (9.2%)
石炭火力	84.8GWh (28.0%)
石油等火力	10.9GWh (3.6%)
原子力	115.4GWh (38.0%)
揚水・蓄電	1.7GWh (0.6%)
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

以下は発電構成に含まれない

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

303.5GWh

需要ピーク

13:30、1,550kW

連系線・その他

33.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電

5.4GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク196万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.1%だった。



2026年7月4日の供給実績

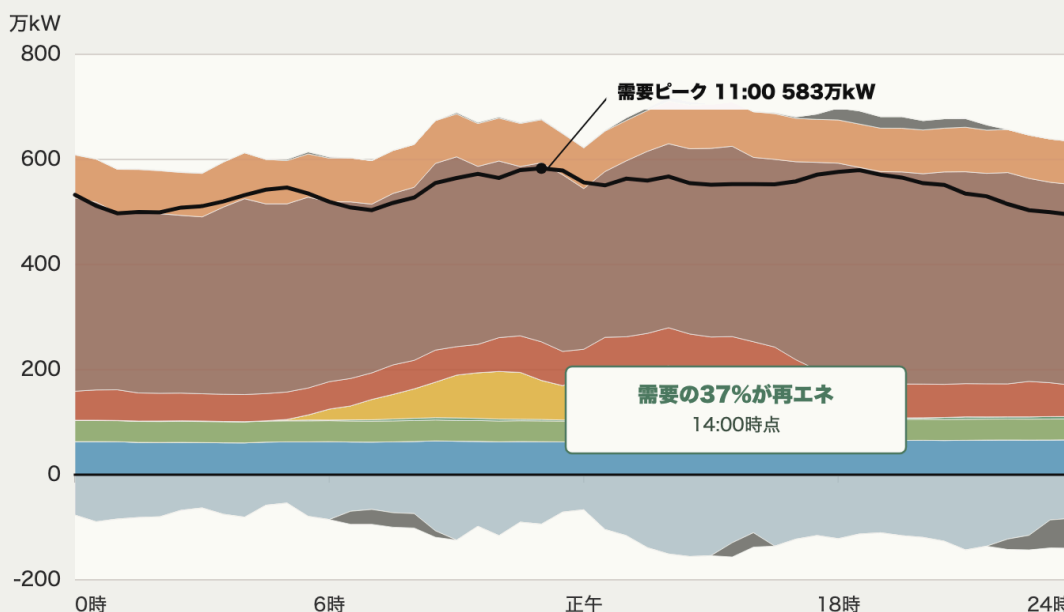
中国エリア

再エネ

33.9GWh

(発電電力量ベース21.8%)

中国エリア 2026年7月4日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 156GWh
(1,558万kWh)

再エネ	33.9GWh (21.8%)
太陽光	8.4GWh (5.4%)
水力	15.2GWh (9.8%)
風力	0.7GWh (0.4%)
バイオマス	9.6GWh (6.2%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	14.7GWh (9.4%)
石炭火力	86.3GWh (55.4%)
石油等火力	19.7GWh (12.7%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.1GWh (0.7%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

155.8GWh

需要ピーク

11:00、583万kW

連系線・その他

24.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク100万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は36.5%だった。

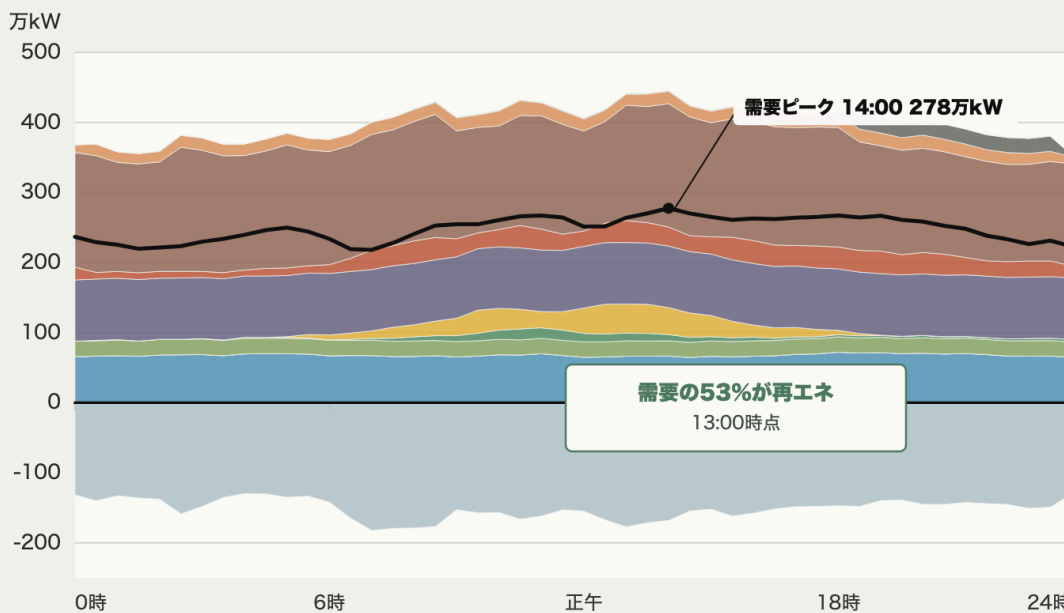


2026年7月4日の供給実績

四国エリア

再エネ
25.7GWh
(発電電力量ベース26.8%)

四国エリア 2026年7月4日の供給実績 (残余需要方式)



発電構成比

総発電電力量: 96GWh
(958万kWh)

再エネ	25.7GWh (26.8%)
太陽光	3.0GWh (3.2%)
水力	16.2GWh (17.0%)
風力	1.1GWh (1.2%)
バイオマス	5.2GWh (5.5%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	5.4GWh (5.7%)
石炭火力	38.3GWh (40.0%)
石油等火力	4.1GWh (4.3%)
原子力	21.0GWh (22.0%)
揚水・蓄電	1.2GWh (1.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

95.8GWh

需要ピーク

14:00、278万kW

連系線・その他

36.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク43万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は55.9%だった。



2026年7月4日の供給実績

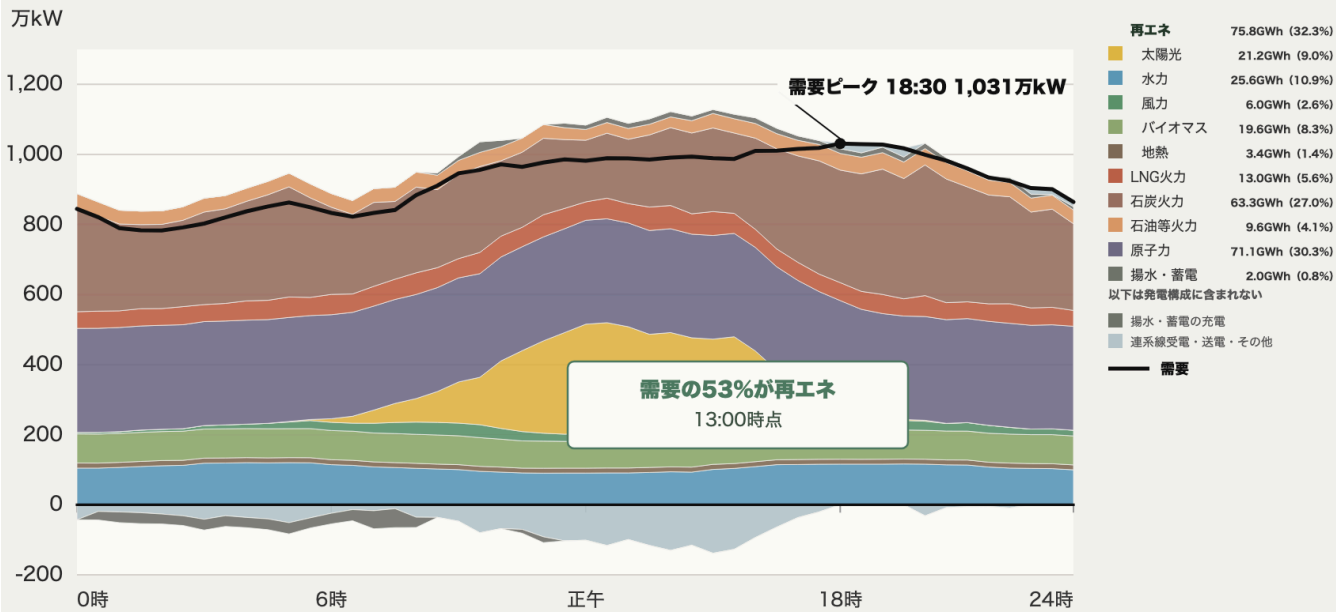
九州エリア

再エネ

75.8GWh

(発電電力量ベース32.3%)

九州エリア 2026年7月4日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

234.8GWh

需要ピーク

18:30、1,031万kW

連系線・その他

11.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

2.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク312万kW、風力ピーク42万kWで、時間別の再エネ最大需要比は52.5%だった。



2026年7月4日の供給実績

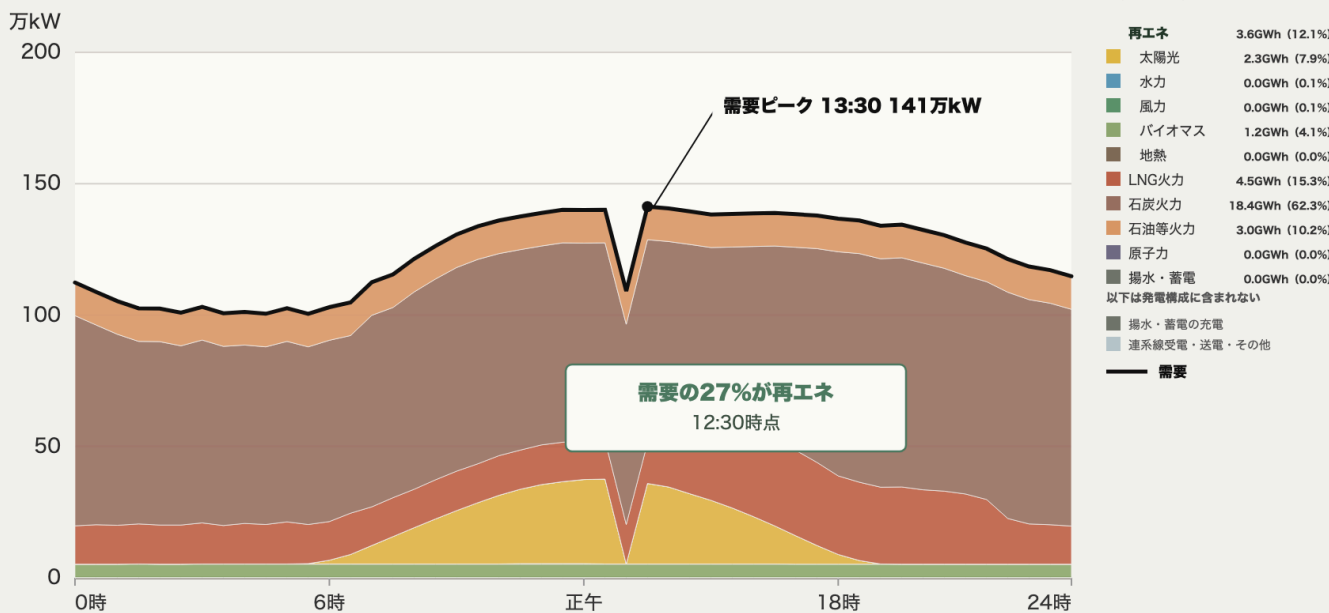
沖縄エリア

再エネ

3.6GWh

(発電電力量ベース12.1%)

沖縄エリア 2026年7月4日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

29.6GWh

需要ピーク

13:30、141万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク32万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は26.8%だった。